

子どものすごさにはびっくり

園長 小島澄人

子どもたちのすごさにはびっくりです。4月からいつのまにか大きくなりました。体が大きくなったと言うより、人を気遣うやさしさ、人を認める育ち、人に憧れる学ぼうのやる気、頑張ろうとする意欲がすごい、本当にびっくりです。まだまだ子ども、そうかもしれませんが、確実に大きくなり、毎日が楽しい日々でした。毎日毎日もっと楽しく、また頑張った保護者の1年にも感謝いたします。

発表会も素晴らしかったです。物語を聞き、いろんな話を聞き、自分たちで話し合い、踊りを考え、年長ではストーリーを考え、セリフをも覚える、大変なことです。しかも、舞台に立ち、たくさんのお客様の前で堂々と演じる姿に感動しましたが、私の流した感激の涙は、家族の、保護者の、先生たちの涙には及ばないまでも、1年の最高の嬉しい涙でした。子どもたちに感謝です。

45年余り、大根を育て、子どもたちに、2本ずつ抜いて持って帰ることにしてきましたが、本当に今年は大きかったです。掘る時の大変さ、2本を新聞紙でまとめ持ち帰る、それだけでも大変です。45年前は年中と年長でしたので、「がんばれ！がんばれ！」で、子どもたちの誇らしげな姿が見られました。今では3歳児、満3歳児が加わりました。3歳児には本当に大変です。歯を食いしばり、時には涙を流しながらも必死に持ち帰る姿には感動です。満3歳児は保護者と一緒に掘りますが、抜くのは大変だと思います。学園で、12,000本、大きくなりました。幼稚園では漬物、お味噌汁、塩もみ、スティック、煮物、おでん、豚汁、などと、楽しみました。サツマイモ掘りも大変でした。特に、柿の実では銀杏が凄くて、毎日のように独特な臭いに悩まされましたが、乾燥した銀杏の実、門で販売しました。

幼稚園で収穫した野菜や果物、保育で使った後、門で販売して、「絵本充実資金」として、絵本の購入に充てています。2学期、くり、柿、あけび、みかん、さつまいも、銀杏、そして大根、も、門に並びました。さつまいもや大根、あちこちの保育園も2本掘って持ち帰りますが、ニコニコでした。時間があれば、切り干し大根、大量に作ってみたいですね。各クラス、切り干し大根、にも挑戦してみてほしいな。お米の苗をうえ、この秋に収穫して精米して、お餅つきした、もち米、お餅つきも盛大でした。玉川中央は1月がお餅つきですが、子どもたちは素晴らしい体験、大きく育ちます。

乾燥し、全国での山火事、大変な大惨事が続きます、皆様も火の元には気を付け、素敵なお年をお迎えください。素敵なお年、育ちいっぱいの年になりますように。